

王朝物語文学の研究・目次

第I部 王朝物語官名形象論——物語と史実と

第一章 民部卿について……………	3
第二章 兵部卿宮あるいは式部卿宮について……………	35
第三章 内大臣について……………	47
第四章 宰相中將について……………	69
第五章 藏人少將について……………	99
第六章 尚侍について……………	123
第七章 一品宮について……………	153
第八章 女院について——創設期の詮子・彰子を中心として——……………	187

第II部 『源氏物語』論——本文表現史の視界

第一章 『源氏物語』の日常と非日常性——年中行事の円環あるいは宴の喪失——……………	219
第二章 『源氏物語』第二部主題論——父桐壺帝との出会い——……………	241
第三章 竹河・橋姫巻の表現構造……………	269
第四章 客人薫——『源氏物語』第三部主題論序説——……………	283
第五章 『源氏物語道しるべ』の古系図について……………	303

第III部 『狭衣物語』論——本文表現史の視界

第一章 フィクシヨンとしての飛鳥井君物語……………	315
第二章 『狭衣物語』作中歌の形態について……………	341
第三章 『狭衣物語』の異文と受容との間……………	375

第四章 『狭衣物語』の改作形態について——第二類本を中心として——……………	417
--	-----

第五章 改作本としての九条家本……………	443
----------------------	-----

第六章 『狭衣物語』の古筆切について(1)——伝蟻川親当筆切を中心に——……………	473
---	-----

第七章 『狭衣物語』の古筆切について(2)——飛鳥井雅章筆本との関連——……………	493
---	-----

第八章 『狭衣物語』——本文研究の現在を考える……………	515
------------------------------	-----

第IV部 孝標女の物語——本文表現史の視界

第一章 『夜の寢覚』の世界……………	535
第二章 『浜松中納言物語』の世界……………	569
第三章 『巢守物語』は孝標女の作か……………	595
第四章 雪と月と……………	613
第五章 物語作者としての孝標女……………	633

初出一覧……………	639
-----------	-----

あとがき……………	643
-----------	-----

人名・事項索引……………	645
--------------	-----

